

悲しき口笛 作詞：藤浦洸 作曲：万城目正

丘のホテルの 赤い灯も
胸のあかりも 消えるころ
みなと小雨が 降るように
ふしも悲しい 口笛が
恋の街角 ろじの細道
ながれ行く

いつかまた逢う 指切りで
笑いながらに 別れたが
白い小指のいとしさが
忘れられない さびしさを
歌に歌うて 祈る心の
いじらしさ

夜のグラスの 酒よりも
もゆる紅色 色さえた
恋の花ゆえ 口づけて
君に捧げた 薔薇(ばら)の花
ドラの響きに ゆれて悲しや
夢と散る